授業科目名	生 化 学			担当教員	田中 紀之	
開講年次	1年後期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	基本的な化学現象について理解を深め、生体成分の化学性状と物質・エネルギー代謝について理解する。					
到達目標	1. 自分の身体の構成成分である化学物質の構造と性状を説明できる。 2. 生体内で生じている代謝について記述できる。 3. 栄養の生化学、病気の生化学的観点を育てる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「人間」に位置付けている。チーム医療の場で看護師などにも生化学や栄養学の知識が求められ、また生活習慣病を予防するための基礎知識としても大事な科目であり、人間の理解のための思考や主体的な学習の力を培う。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎		○	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	イントロダクション (講義のスタンス, 授業目的の明示と授業内容の概説)	講義	(予習) 高校の化学, 生物の教科書で, 炭水化物, 脂質 (油脂), タンパク質, 代謝について復習しておく (復習) 講義内容を踏まえ, 再度 (予習) の内容の学習を行う	180分	田中	
2	糖質の化学	講義	(予習) 教科書第2章-1に目を通しておく (復習) 教科書本文および加筆メモの内容を理解し, 定着させる	60分	田中	
3	脂質の化学	講義	(予習) 教科書第2章-2に目を通しておく (復習) 同上	80分	田中	
4	アミノ酸・タンパク質の化学	講義	(予習) 教科書第2章-3に目を通しておく (復習) 同上	80分	田中	
5	ビタミン	講義	(予習) 教科書第2章-5に目を通しておく (復習) 同上	80分	田中	
6	糖質の代謝	講義	(予習) 教科書第5章-1,2に目を通しておく (復習) 同上	120分	田中	
7	脂質の代謝	講義	(予習) 教科書第5章-3に目を通しておく (復習) 同上	60分	田中	
8	アミノ酸・タンパク質の代謝	講義	(予習) 教科書第5章-4に目を通しておく (復習) 同上 (課題) 試験内容の説明を踏まえ, 期末試験までに, 講義内容の重要ポイントを「理解」しておく	60分 + 180分	田中	

先行履修 科目	
テキスト	関周司 編著：生化学 第3版, 三共出版, 2015.
参考文献	Voet D. 他：Biochemistry. (第4版) 田宮信雄他訳：ヴォート：生化学, 東京化学同人, 上(2012), 下(2013) 大島泰郎：生化学辞典 第4版, 東京化学同人, 2007.
評価方法	出席で受験資格を得た学生について試験で評価(100%)します。 試験以外の通常授業に関連する評価は、合否の最終判断の際に参考とします。 再試験は行いません。
メッセージ	○板書はせず, パワーポイントを使用して講義しますが, 教科書の該当箇所によって進行しますので, 教科書の予習復習が重要です。 ○重要なポイントについては, 講義中に, 教科書にメモやアンダーラインの指示をしながら進めます。 ☆自然科学の学習では, 内容を「理解」することが最も重要です。 勉強というはおぼえることだ, と思っている人はその考えを「一掃」し, 授業中は, 講義内容を「理解」することに集中して下さい。